

政務活動費とは？

地方自治法と条例に基づいて、議員の調査研究その他の活動に必要な経費の一部として、市長が議会の会派へ、所属議員1人あたり年額9万円を交付するものです。

平成26年度は、全ての会派が交付を受け、使途基準に基づき、適正に支出をしました。

※より詳しい金額、支出内容の概要は市議会ホームページに掲載しています。領収証の写し等につきましては、議会事務局で閲覧できます。

平成26年度 政務活動費

各会派の支出内容（概要）

明政会

塩原・五味・森川
西條・(宮田 12月まで)

北海道斜里町「ふるさと応援寄附について」は、列島改造論の乱開発で失いかけた森林を復活させた事業を、釧路市「健康づくり応援団について」は肥満対策を栄養表示成分を登録したヘルシーレストランで成果を出した事業例を、弟子屈町「摩周湖の保全対策について」など、環境と福祉と地域経済活性化策について、具体例を4件、現地視察しました。

新政会

牧野・中原輝・金田
金子・横沢

新政会は、6月25日に国道19号拡幅事業について県内国會議員への陳情をおこないました。事業を認知していない方もおり、今後さらに働きかけを積極化する必要性を感じました。9月8日にはフランス大使館を訪れフランス産ワインの振興政策について学ぶとともに、大使館員の皆さんと桔梗ヶ原ワインのテイステイングを交え塩尻ワインのPR活動を行いました。

市民派連合

永田・丸山・古畑

第6回日本自治創造学会研究大会に参加し、講演、パネルディスカッション等を通じ、地方議会の在り方、教育委員会改革等について研修を深めました。行政視察では岡山市で「安全・安心ネットワーク活動支援と共同体づくり」、岡山県真庭市で「バイオマスタワー真庭」を、同県倉敷市で「倉敷美観地区の街並み」を学び、議会の質問や政策提言に役立てました。

自由民主クラブ

務台・青柳・永井

自由民主クラブは、日本自治創造学会主催の「変わる地域社会、変わる自治体・地方議会」研修会と、時事通信社主催のセミナー「自治体消滅、人口減少社会の今、何をすべきか」に参加し、地域消滅を防ぐには、自治体にもマーケティングや営業という民間感覚で地域を売り込むタイプ「OMOーション」が重要になるなど、塩尻市第五次総合計画策定に大いに役立てました。

市政同志会

中原巳・青木

平成26年5月12日、三重県松阪市の行政改革について視察。基本的な考え方として、
①税金投入すべきものを見極め、無駄なく、必要なサービスを提供すること。
②市民の自治力を活かし、市民が協力して地域課題の解決を行っていきけるよう、市民の連携、地域全体とのネットワークの強化を図る。
③合理的で質の高い仕事を追及する。などで、当市での議会活動の参考としました。

公明党

中村・山口

4月28日から29日まで、東京都にて保育研究所主催の「子ども・子育て支援制度と自治体行政」に参加、議会質問の要点を研修しました。5月23日地域包括ケアシステムの先進地として医療介護連携や、両小野国保診療所指定管理に向けた取り組みの調査をしました。公明議会だよりを2回発行しました。市民相談や質問の資料として、住宅地図等の書籍を購入しました。

日本共産党

柴田・鈴木

平成26年10月6日から8日に行政視察を実施しました。秋田県大館市では、小学校に設置されているペレットボイラーを視察。公共施設での木質バイオマスの利用などについて研修しました。能代市では、スギ樹皮や製材端材をチップ化した燃料を用いて発電する能代バイオマス発電施設を視察しました。岩手県八幡平市では「住宅リフォーム支援事業について」研修しました。

輝星会（1月から）

宮田

3月21日、山梨県甲州市立勝沼図書館で、「地域の特徴を活かした葡萄とワインの資料収集と情報発信」について視察をしました。「ぶどうの国文化館」が併設されており、葡萄とワインに関する資料収集は日本一を誇っています。年に一度開催される資料展は、ワインの試飲を行うなど図書館の枠を超えた、地域産業活性化の一助を担っています。ほか住宅地図を購入しました。